

この通信は、部会の様子をお伝えし、関連する機関のみなさまとの情報共有をめざして発行しています。



平成 27 年 3 月 18 日 **地域移行部会を開催**しました！

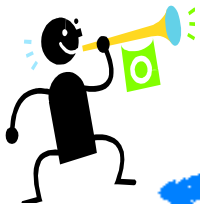
区内外から 27 名の方に参加していただきました。ありがとうございました。
この部会は、毎回テーマを設け、精神科病院に入院している方の地域移行に向けた支援の在り方や課題について検討しています。今回も参加者同士で積極的、活発な意見交換を行いました。



*** 今回のテーマ ***

『事例を通して～どのようにしたら地域で支え続けられるのか』

今回の部会では、長期入院となり地域移行支援を利用し退院し、その後に不安が高く再入院なった方の事例（架空）を通して、どのような支援・サービスがあれば地域での生活が継続できるのかについて検討をしました。



今回の事例 *Zさんは、実際の長期入院の方々の状況を複合して作成した架空の人物です。

【事例 Zさん(61歳 男性)】

<プロフィール>

病名：統合失調症。入院当時は幻聴・幻覚が活発だったが、現在は服薬により症状は消失している。
地域移行支援を利用し、体験外泊実施後、生活保護を申請し、実家近くのアパートを借りヘルパー、訪問看護を導入して退院した。

両親の年齢は共に 80 代半ば。

<退院後の状況>

夜間に大声で叫び、動き回る等の落ち着かない行動があり、不安感から救急車を何度か呼んでしまったため、一週間で再入院となった。

入院直後は本人も自信を失い、独り暮らしの不安も訴えていたのだが、病棟では 2 週間が経ち、本人は落ち着いてきている。「退院したい。アパートへ帰りたい。外出したい。テレビを自由に見たい！」と、退院してアパートでの生活に戻りたいという意欲が出てきた。

しかし、アパートで生活していた間の頻回な電話や訪問で両親が疲れて果ててしまっており、身体的、精神的にも限界を訴えている。母は寝込んでしまった。

< 本人・家族・関係機関等との（架空）カンファレンス >



今後の方向性についてカンファレンスを持つことになりました。

（3月18日は参加していただいたみなさんにそれぞれの役のセリフを読み上げて頂きました。みなさん、それぞれの役になりきって臨場感があふれる再現ができました）

場所 病棟面接室 **カンファレンス（架空）の参加者** 本人、父、主治医、病院ケースワーカー、地区担当保健師、訪問看護師、ヘルパー、指定特定相談支援事業所職員、生活保護ケースワーカー

病院ケースワーカー：今日はお集まり頂いてありがとうございます。

主治医：夜間にいらっしゃったので救急病棟にご入院して頂いていたのですが、すぐに落ち着いて今は前回の退院前の状態に戻っていらっしゃいます。ご本人は退院したいとおっしゃっています。

本人：もう大丈夫です。早くアパートに帰りたいです。新しいDVDを買いに行きたい。バイオリン買いたい。喫茶店に行きたい。大学受験したい。

父親：なんですぐに入院になったのか分かっているのか？お母さんは毎日電話がかかってきてまいってしまい寝込んでいるんだぞ！退院しても同じじゃないですか？こんなに皆さんの手をわずらわして一週間しかもたないんですよ。

生活保護ケースワーカー：アパートを借りましたけど、そこで生活ができますかね。このままで大丈夫なんですかね。入院が長くなったり入退院を繰り返すと家賃の問題もありますので困りますけどね・・・。

保健師：ご本人からの連絡はなかったのですが、お父様お母様の不安が強くてお困りのご様子で、どうしたらいいか何度も連絡を下さっていました。ご本人にも連絡をとりましたがつながらず・・・。

訪問看護師：一度訪問させて頂いたときは落ち着いていて、お薬もきちんと飲んでいらっしゃったので特に心配な点はなかったように思ったのですが。何か困っていることありませんか？とお尋ねしても「大丈夫です！」としかおっしゃらなかった・・・。

ヘルパー：ご自分でコンビニのお弁当を買ったり、配食サービスを使っていて身の回りのことはできていらっしゃいました。水回りとトイレのお掃除、ゴミの分別はしたことがないとのことだったので一緒にやりました。

指定特定相談支援事業所職員：どうして夜救急車を何度も呼んでしまったのですか？どういう状態でしたか？

本人：急に具合が悪くなって、また不安でしょうがなくなったから。夜中にお父さんへ電話したら、怒られて、どうしたらいいか分からなくなったから、救急車を呼んでしまった。なんでだかわからないけど、そうなる。でも、もう救急車呼びません、大丈夫です！

父親：それじゃあ、また同じことになるだろう！！何が大丈夫なのか！！これ以上みんなに迷惑をかけたらだめじゃないか！

一 同：まあまあお父さん。

本人：そんなこといったって！一生懸命やっているのに・・・。

病院のケースワーカー：じゃあどうしますかね・・・。



今回のグループワークは、この後のカンファレンスの続きを考えるイメージで意見交換や検討をしていただきました。この事例への対応を否定するのではなく、地域で本人が生活していくために、各支援者が考えていること、できることを共有しました。



グループワークによる意見交換(抜粋)

長期入院後の退院した方の生活支援について、グループワークの中で、以下の4つの意見が多くあがりました。

【安心できる支援者とつながっておくことが大切】

- ・退院前に地域生活において本人が安心して相談ができる支援者とコミュニケーションを取り、また退院後にその支援者と連絡、相談できる体制を取っておくのがいいのではないかと。
- ・本人の病状が不安定になった場合に、24時間相談及び対応してもらえる体制があるといい。

【入退院を繰り返したとしても、再入院を「休息」ととらえるとよい】

- ・退院したいという気持ちがあるのが大切で、再度入院してもいいのではと考えたらよいのでは。再度入院すると「どうせまた入院になる」と考え、退院したくない人もいる。
- ・「期待に応えなきゃいけない」「また入院することにならないように」というプレッシャーが大きい人もいる。
- ・入退院を繰り返しても休息の意味での入院としてとらえればよいのではないかと。



【本人の不安の要因やニーズを把握する】

- ・本人目線でのアセスメント(本人の課題とニーズ)や中長期的な計画も立てていくことが重要だ。
- ・夜間等落ち着かない不安の要因は何か。本人と寄り添い、把握することが必要。
- ・退院前に「不安は」と聞いても「ない」と答えることも多い。退院してみなくては分からないことも多い。
- ・思ってもいなかったことが起こるとパニックになる人もいる。
- ・支援者が聞き上手になっていく必要がある。結果、本人が安心できる関係が作れるのではないかと。

【生活力をアップさせ、自信を取り戻してもらおう】

- ・本人の生活力を把握する(服薬管理、病識、日中の過ごし方等)。
- ・入院中から一人暮らしの際の生活訓練を行い、その中で自信をつけてもらえるようにするとよいのでは。
- ・病院内では、服薬確認や洗濯をするぐらいで、本当の意味での生活力の向上は難しいか。一人暮らしの生活力向上のための中間施設があるとよい。
- ・サービスや制度にはめ込みすぎると、本人の生活状況とサービスの現状にギャップがでる可能性もある。
- ・地域生活、特に一人暮らしに慣れるには時間がかかる。長い目で少しずつ生活力が向上していくのを見守る。
- ・日中の過ごし方が大事。趣味や好きなことに目標を立て、打ち込める環境をつくる。
- ・本人のやる気のスイッチはどこにあるのか探る。
- ・「1週間しか持たなかったのか」ではなく「1週間も生活できた」ことを評価する。

グループワーク中から、支援者との安心できる関係の重要性、地域生活前の生活能力の向上の必要性、支援者が長期的にご本人の状況をとらえていくことの重要性がうかがわれました。



自立支援協議会本会報告と情報提供

地域移行部会の金川会長より自立支援協議会本会の報告と、精神障害者の地域移行についての情報提供がありました。

1. 自立支援協議会本会報告

(1) 地域移行部会の報告：協議会本会で会長から地域移行部会の活動報告を行い、平成26年度第2回部会の意見交換の中で抽出された以下の4点の課題を報告した。

長期入院している高齢者が退院する場合、退院後の居住地が課題である。

生活保護受給者は、セーフティネット事業が活用でき、メンタルケア支援員が大変有効である。地域移行を活用する場合、紹介できる地域移行支援事業所を病院側が把握しきれていない場合がある。どう紹介するか分からない場合もある。

家族だけで対象者を抱え込む必要はない。どのタイミングで、福祉サービスにつなげることができるのか。家族が対象者のために頑張っていることを、どのように把握するのか。また今後の支援の方向性について家族へ周知も必要である。機能的な連携が求められている。

(2) せたがやノーマライゼーションプラン及び第4期世田谷区障害福祉計画（答申）について

せたがやノーマライゼーションプラン及び第4期世田谷区障害福祉計画（答申）の中で、精神科病院の長期入院者数や地域移行支援・地域定着支援の実績を掲載し、地域移行を促進することの必要性について計画に掲載していることを報告した。

2. 地域移行に関する情報提供

(1) 東京都地域移行促進事業

・平成27年度について6事業所委託は変更がないが、足立区6病院を中心に活動していた事業所が変更になる予定。

(2) その他、以下の項目についての報告

- ・地域移行支援関連の報酬改定概要について
- ・国の精神保健福祉の人材育成研修について

引き続き自立支援協議会地域移行部会では、精神科病院に入院している方への退院促進に向けた支援のあり方や課題を検討していきます。次回も、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。部会で取り上げたいテーマや事例などありましたら、下記までご連絡ください。

